

# 学生協ニュース

No. 1 4

東北大学学生生活協議会広報委員会

## 全ての学寮から入寮願が出され、新生は入寮を許可されました

「学生協だよりNo12」でお知らせしましたように、東北大学が抱えていた学寮の電気料問題が36年ぶりに解決しました。今後、大学は学寮に関するその他の懸案事項を一つ一つ解決していかねばなりません。

懸案事項の一つは、有朋寮・日就寮の「入寮願」が平成10年度には未提出(平成11年度は入寮募集停止のため除外)だったことです。今年度は、全ての寮から「入寮願」が提出され、これを受け、副総長(学務等担当)は全8寮の入寮希望者の入寮を許可する旨を各寮委員長に通知しました。

ただし、日就寮委員長から4月14日に提出された「入寮願」は、学籍番号や連帯保証人氏名・住所等が記載されていない不完全なものでした。大学は、この「入寮願」を受理しないと、日就寮委員会の不適切な行動により、この件には何の責任も無い新生入寮生を混乱に巻き込みかねないと考え、教育的配慮から、不完全な「入寮願」を今回に限り暫定的に受け付けました。

規程に基づく諸手続きの履行が入寮の基本条件ですので、日就寮委員長には記載漏れの無い「入寮願」の提出を4月21日付けの文書で請求していたところ、4月28日に記載漏れを補った文書が提出されました。しかしながら、今度は「入寮願」の「願」が「届」に書き換えられていました。大学はこの書類の取り扱いを留保し、直ちに「入寮願」の記入不備を是正するように5月15日付けの文書で日就寮委員長に注意しましたが、現在まで実行されていません。

## 不法入寮者へ郵送した告知文が一部「宛先人不明」で返送されてきました

本年2月に有朋・日就2寮の入寮募集停止を解除しました。「入寮募集再開後の措置」の一つとして、再三の説得や退去勧告にもかかわらず入居を続けた不法入寮者(14名)に対して、大学は不法入居期間に相当する期間(5ヶ月～10ヶ月)、入寮募集開始後も、当該2寮への入寮を一時的に禁止する措置を講ずることになりました。

この措置に基づき、不法入寮者に3月20日付けの告知文(「有朋寮および日就寮への一時的入寮禁止の通告」)を繰り返し郵送しましたが、今のところ有朋寮関係の5名に対しては、「内容証明」郵便も「宛先人不明」で届いていません。これらの住所は、「入寮募集停止解除の条件」に対する回答の一部として、有朋寮が退去した旨を申し出、不法入寮者自らが大学に提出した「住所変更届」によるものです。現在、一時的入寮禁止の措置を本人に確実に通告するとともに、事態の解明に努力しています。

## 全ての学寮の視察が行われました

4月26日、学寮専門委員会(学寮専)は学寮の現状把握のために全ての学寮を対象に視察を行いました。なお、有朋・日就2寮の視察は、4月14日の寮連との非公式面談において、有朋・日就寮生から「視察を希望する」旨の申し出があったことによるものです。

有朋寮の視察に関しては、実行の段階になってから視察を困難にする様々な条件が寮委員会から出されました。しかしながら、学寮専としては建物の老朽化状況を早急に把握する必要があることから、食堂や浴室など寮の共用部分に限定されはしたものの、視察を実施しました。

また、日就寮については、直前になって視察延期の要請がありました。やむを得ず、今回の視察では、寮の外回りを中心に視察しました。

なお、他の6寮(昭和舎、以文寮、霽風寮、明善寮、松風寮、如春寮)については、問題なく視察が行えました。

## 川内北キャンパスの学内捜索が行われました

3月22日早朝、川内北キャンパスのサークルG棟13号(自治会室)及びサークルF棟7号(東北大新聞社川内支局室:現在休刊中)が、宮城県警の捜索を受けました。令状によればこの捜索は、平成9年7月東京都世田谷区の運輸省職員宅において発生した爆発事件に関わるものとして行われたものです。また、5月10日にはサークル会館102号(サークル協議会運営委員会室)、サークルF棟14号(サークル協議会室)の2室が宮城県警の捜索を受けました。令状によればこの捜索は、平成10年10月千葉県旭市の千葉県議会議員宅において発生した車輛等放火事件に関わるものとして行われたものです。

なお、自治会及び日就寮発行のピラには大学は県警の捜索に協力的であるとの抗議がありますが、いずれも正規の手続きで裁判官が発行した令状に基づいて行われたもので、当然の事ながら大学の意思とは一切関係ありません。捜索を受けたサークル室の中には電気料問題に関連し、有朋・日就2寮さえ容認できないとする暴力行為を繰り返した「寮生共闘」の連絡先になっていたものもあります。

両捜索とも大きな混乱は有りませんが、大学にとってこのような捜索が望ましくないことは、いうまでもありません。